

活 動 実 績 書

協同組合横浜マーチャндаイジグセンター

【 平成 30 年(2018 年)4 月 ～ 平成 31 年(2019 年)3 月 】

1. 団地再整備計画に向けた取り組み

団地リニューアル再整備検討委員会を設置し、神奈川県中小企業団体中央会の指導のもと、組合員企業の現況、事業の方向性、建物施設に対する意向などの実態調査を行い、「卸売団地施設リニューアルのためのビジョン策定報告書」を作成した。

幸浦 MDC 地区まちづくり協定に沿って、新規企業進出又は建築計画について協定運営委員会で検討した。

団地内事業者の退去、新規進出（組合加入）に関する業種の適正、周辺企業の適否に関して調整を行った。

まちづくり協定運営委員会を開催し、平成 27 年度に賃貸借関係において、第三者への又貸しが問題となったことを踏まえ、協定条文の一部改正を行うこととなった。

2. ヒューマンリソースセンター（人材確保・教育）の展開

横浜市立大学との連携事業「地（知）の拠点事業（COC 事業）」によって形成した組合員企業における人財確保・人財育成・ネットワークの推進を図るヒューマンリソースセンター（HRC）事業を本格的に推進することができ、人財育成においては 12 講座 212 時間に 22 社のべ 104 名の受講という成果が得られた。

また、人財確保においてはハローワークとの連携による合同就職面接会の開催や横浜市シルバー人材センターの紹介事業支援を行った。

3. 廃業した S 社跡地利用の問題

S 社跡地の地権者 K 氏（S 社の創業者）と協議の結果、K 氏から組合が土地建物を買取った。その後、建築法上不備のある既設工場・事務所を解体し、更地として分譲募集したところ、X 社から応募があり、これを協定運営委員会審議の結果、X 社が進出し事務所・倉庫を新築した。これにより、かねてより緑化協定上問題となっていた緑地不足も改善され正常化した。

【 平成 31 年(2019 年)4 月 ～ 令和 2 年(2020 年)3 月 】

1. 団地再整備構想に向けた事業推進

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)の卸団地機能向上支援事業の適用を受け、MDC 団地再整備計画特別委員会を設置し、神奈川県中小企業団体中央会、当組合建築設計顧問、神奈川県産業労働局、横浜市経済局の指導のもと「横浜マーチャングダイジングセンター再整備構想調査」事業(2年間)に取り組み、初年度は組合員企業のヒアリングや連棟建物の問題等の検討を行った。

2. 令和元年 9 月 9 日早朝に到来した台風 15 号による横浜金沢地区の幸浦・福浦護岸の決壊に伴う団地一帯の浸水被害への対応

台風 15 号直撃を受け、団地開設以来の団地全体の風水害により、建物施設の欠損部補修、がれきの撤去、浸水による在庫品、車両の処分などかつてない被災状況であったが、協力し合いながら、比較的早期に復旧ができた。

国・県・横浜市からの助成金・特別融資など支援策の恩恵は大きかった。

3. 統一清掃と防災訓練

団地をきれいにすることがまちづくりの第 1 歩と心がけ、月の第三水曜日は、清掃デーとし、組合員企業の周辺を清掃している。さらに年 3 回(7,11,3 月)は、全企業一斉の統一清掃日として組合会館に集合し共同緑地・共同施設・各道路などの廃棄物を回収している。

また、団地の防災についてはBCPマニュアル作りだけでなく、年 2 回以上の防災訓練、救命講習会を実施し、安全・安心・クリーンなまちづくりを推進している。

4. ヒューマンリソースセンター(人材確保・教育)の開催

人財育成においては 9 講座 100 時間に 18 社のべ 76 名の受講という成果が得られた。また、人材確保においてはハローワークとの連携による合同就職面接会の開催や横浜市シルバー人材センターの紹介事業支援を行った。

5. MDC アウトレットセール開催

恒例となった毎月の MDC アウトレットセールは 3 月で 93 回の開催を数え、地域のイベントとして定着し、毎回 3,000 人前後の来場者でにぎわった。

【 令和 2 年(2020 年)4 月 ～ 令和 3 年(2021 年)2 月 】

1. 団地再整備構想に向けた事業推進

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)の卸団地機能向上支援事業の2年目として、MDC団地再整備計画特別委員会において、団地の将来ビジョンと再整備のあり方の検討に取り組み、団地再整備構想を取りまとめた。

2. 連携事業継続力強化計画の策定

新型コロナウイルスによるパンデミック対策を含む「連携事業継続力強化計画」事業に取り組み、中小企業基盤整備機構の指導を受け、①地震・津波対策、②台風の風水害対策、③感染症対策行動マニュアルを作成した。

3. 共同施設改修計画の作成並びにハード面の整備

築40年を超える組合会館をはじめ、立体駐車場、共同ビル等の共同施設は経年劣化による漏水、被覆材の落下など問題を抱えていることから、これらの共同施設改修計画を作成し、本年度から次年度にかけて改修工事を実施することとなり、街を形つくるハード面の整備に着手した。

4. まちづくり協定の見直し

令和3年(2021年)3月で「幸浦MDCまちづくり協定」の更新を迎えるにあたり、平成27年(2015年)度に問題となった「賃貸の又貸し」の禁止条文を加入することについて、まちづくり協定運営委員会において再確認をおこなった。

5. ヒューマンリソースセンター(人材確保・教育)の開催

人財育成においては6講座54時間に9社のべ55名の受講という成果が得られた。また、人材確保においては、三密対策を施し、ハローワークとの連携による合同就職面接会を開催した。

6. MDC アウトレットセールスの開催

恒例となった毎月のMDCアウトレットセールスはコロナ禍により令和2年4～6月は全体開催を一時自粛したが、その後の開催では毎回延3,000人前後の来場者があった。